

WEEKLY REPORT

No.928

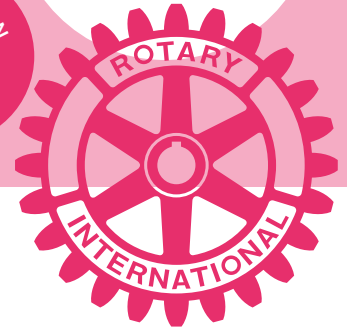
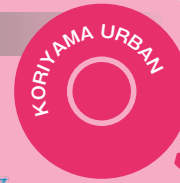


国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐久間 英一
会長 宮崎 登志行
幹事 采女 真弓



人類に
奉仕する
ロータリー



第18回例会 H.28.11.16 (水) ☀

- ▶開会点鐘 ▶ロータリー歌斉唱「それでこそロータリー」
- ▶四つのテスト唱和 佐藤洋子さん

会長挨拶

宮崎登志行 会長

例会に来る前に、若い方がプロジェクト企画を立てる NHK の番組を見ました。その中で“Think big, Start small”という言葉を見ました。「大きなビジョンを描きましょう。でも始めるのは小さいところから」というキーワードで、なるほど良い言葉だと思いました。

スマイルBOX報告

佐藤洋子委員長

- ☺岩山 慎一▶お寒くなりました。風邪など召されませんように!
- ☺渡邊万里子▶冊子の納品ありがとうございました!
- ☺宗形 千鶴▶お誕生日に素敵なお花をいただきありがとうございました。
- ☺宮崎登志行 ☺蔭山 寿一 ☺橋本 弘幸 ☺渡部 宏夫
- ☺佐藤 功一 ☺高橋 功 ☺佐藤 洋子

幹事報告

采女真弓 幹事

- (1) 岩山慎一さんから昨日の日経新聞にエヌジェイアイさんの記事が掲載されたそうで、コピーをいただきました。掲示しますのでご覧ください。
- (2) 来年6月にアトランタで行われる国際年次大会の参加募集案内が来ております。
- (3) 11月12日に中央分区分区マイロータリー操作勉強会に私が参加しました。それほど難しくないのので皆さんもアクセスしてください。クリックすると会長賞に登録されるそうです。
- (4) 23日(水)は祝日のため休会です。30日(水)は午後6時30分からビューホテルアネックスで4クラブ合同の例会です。多数のご参加よろしくお願いします。

プログラム/会員卓話

「国際奉仕について」

鈴木尚子さん

新入会員の方がたくさんおられますので、今日は懐かしい写真を見て昔を思い出しながら、新たにスタートをしたいという気持ちで卓話をさせていただきます。私は亡くなられた土屋繁一先生からご推薦をいただいて入会しました。土屋先生からロータリーの心を教えていただき、「女性のいるクラブを作るからぜひ」と言われて入会し、土屋先生のご指導をいただいてなんとかここまでやってまいりました。これまでの足跡を少しですが写真でご紹介したいと思います。パソコンの操作を松川先生にお願いします。

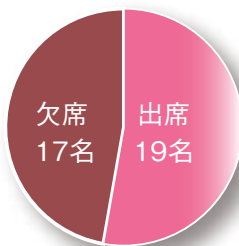


21年前の創立総会の写真です。皆さん若かったですね。退会された方や亡くなられた方もおられます。初代・二代会長をされた本田英治さん、女性で会長をされた佐藤八千代さん、土屋陽子さんも写っています。初瀬行雄ガバナーの時に設立されました。私の娘はロスアンゼルスに留学しておりましたことから、土屋先生から「良い勉強になるからぜひメイクアップに行くように」と言われ、カリフォルニアのリバーサイド RC にメイクアップに行きました。例会場のレストランでバナーを交換しました。これが初めての外国のクラブへのメイクアップでしたが、大変勉強になりました。郡山アーバン RC が国際ロータリーに正式に承認され、認証状伝達式が行われま

裏面へ続く→

出席報告

小林悦子 副委員長



総員 36名
出席率 52.78%
前回修正率 100%



プログラム／会員卓話

→表面からの続き

した。皆さんがタスキをかけて記念写真を撮りました。式典では私が閉会の言葉を申し付けました。その年のアーバンナイトのテーマは「世界から皆さんをお迎えする」ということで、全員が世界各国の衣装を着ました。化粧と扮装で、誰だか分からないかもしれません。日本国の演出は、子供たちをお迎えするというので、セーラー服を着て日本国旗を持っています。フランス、中国など、各国の衣装を着て、入場する時にはその国の言葉で挨拶をして、その国の音楽を BGM でかけて会場を一周するという演出でした。和気あいあい、笑いの絶えないアーバンナイトで懇親を深めました。

2530 地区が受け入れた GSE（職業研修）7 名を中央分区が担当することになり、私と高橋先生がホストファミリーとしてカレンさんを受け入れました。団長は土屋先生のお宅で受け入れ、通訳は私の娘が担当しました。GSE は日本文化を学ぶことも目的のひとつですので、ベッドではなく、あえて布団を用意しました。カラオケやお寿司屋さんなどにカレンさんを案内しました。カレンさんとは今でも文通をしています。ロータリーの国際奉仕はグローバルな考え方にも役立つものと思います。英語が通じなくてもなんとかなるものです。

私が2度目にメイクアップをしたのは、郡山北 RC の方々にご一緒させていただいたソウルのクラブでした。私の父が郡山西 RC 第8代会長の時に、国際奉仕をされていたのが味戸道雄バスターガバナーで、交換学生をはじめとして国際奉仕に大変に力を入れておられました。この時にも味戸さんからご指導をいただき、大変に良い勉強をさせていただき感謝しております。カリフォルニアから広島の実態を見るために来たアイさんが体調を崩してしまった時には、白岩先生にお世話になりました。アイさんは、今は2人の子供を持つ母親となっているそうです。シカゴでのロータリー創立 100 周年に娘と一緒に参加しまして、皆さんと一緒にポール・ハリスのお墓にお参りました。シカゴの街には「ロータリーロード」があり、ロータリー創設者の4人が初めて集まった事務所や、世界で初めての社会奉仕として公衆トイレを作った場所などを巡りました。世界大会に参加して、英語はできなくても世界のロータリアンと心が通じ、今も交流が続いております。土屋先生が亡くなられる前に、GSE メンバーだったカレンさんがお見舞いに来られたことを、ロータリーの雑誌に寄稿されました。土屋先生を讃える言葉で綴られたこの記事、ぜひ皆様にご紹介したいと思います。土屋先生は郡山アーバンRC 創立の時の特別代表をされました。スポンサークラブの郡山南 RC からは采女真弓さんのお父様の本田英治さんが来られていろいろとご指導くださいました。その歴史の中で私たちがここまでやってこられたということ、私たちはもう一度振り返りながら、先人の心をしっかりと胸に、時代とともに変えていながら、新たに未来に進んでいきたいと思っております。

ロータリーは「I serve」です。自分のできることから、自分の職業から、



小さなことでも奉仕をしていくということです。私はいつも自分の職業を通じて何かできることがないかと考えています。私は FSG カレッジでデザインを教えていたことから、台湾の美容学校と提携してファッションショーを企画し、日本と台湾の生徒たちが交流を深める場を設けました。私は日本を代表する素材として和紙を提案し、洋服に加工するために京都の柔らかい和紙を使い、日本と世界とのつながりによってたくさん実を付けて欲しいという願いを込めて葡萄の絵を墨で描きました。FSG の学生がモデルを務め、とても上手に着こなしてくれました。現地のテレビにも出たそうです。中国での外務省主催による「ジャパンフェスティバルさくらまつり」では世界で一番薄い川俣の絹を使い、和紙の洋服で学生とともにショーをさせていただきました。「少しでも自分でできること」から始めたものです。皆様のお力をお借りしながら、土屋先生の遺志を継ぎ、少しでもお役に立てればと思っております。郡山アーバン RC のバナーは本田さんのデザインです。本田さんの提案で作ったお揃いのプレザーの色は、初瀬ガバナーの時のプレザーの色です。お持ちの方は何かの機会にぜひ着用して、創立の頃に思いを馳せていただければと思います。

ロータリー財団寄付者

■宮崎登志行 ■高橋 功 ■橋本 弘幸
■松川 義行

米山記念奨学会寄付者

■津野 順子 ■高橋 功 ■宮崎登志行
■橋本 弘幸 ■宗形 千鶴 ■蔭山 寿一
■白岩 邦俊

ポリオ寄付者

■宮崎登志行 ■蔭山 寿一 ■橋本 弘幸

▶閉会点鐘

SALON de "PETIT" プティ

飯原 由香

郡山市駅前1丁目4-13 エリート11ビル4F
TEL.024-923-3606

第一地所

石堂 勝壽

郡山市桑野1-25-9
TEL.024-934-0340